

プレスリリース

2017年5月29日

PACK PRINT INTERNATIONAL 2017 業界の今を反映した製品・技術が一堂に会する 包括的な包装・印刷産業展

- 東南アジアをリードする包装・印刷産業展の第6回が新たに包装に焦点をあて、本年9月に開催
- 世界20か国から300におよぶ企業が、包装と印刷の相乗効果を網羅する、多岐にわたる製品を出展
- 最新の業界トレンドを中心にすえた特別エリア、パビリオン、併催プログラム

包装・印刷業界の優れた機材、技術、ソリューションが一堂に会する PACK PRINT INTERNATIONAL が、本年9月に第6回目を迎える。世界最高峰の印刷・メディア産業展 drupa と、加工・包装産業展 interpack をモデルとし、タイ包装協会、タイ印刷協会、メッセ・デュッセルドルフ・アジアが共同で主催する本展に、今年世界20か国から300社が出展、日本、シンガポール、タイ、台湾、中国、ドイツは、国別エリア・パビリオンを設ける。なお、ドイツは政府が助成し、ドイツ機械工業連盟 (VDMA) がパビリオンを形成、また、シンガポールエリアは、PACK PRINT INTERNATIONAL に初めて出現する。

隔年開催の本メッセは、業界関係者による業界関係者のための、典型的なビジネスの場であり、東南アジアにおいて、着実にその地位を確立している。その証拠に、コニカミノルタ、三起機械、塚谷刃物製作所、デュプロ、凸版印刷、ナカヤマ、富士ゼロックス、富士フイルム、リコー、理想科学工業、BOBST、BPS UNITED、BST ELTROMAT、CYBER SM、FERROSTAAL、FOILMASTER、HARN ENGINEERING、HP、KBA、KEYWELL INDUSTRIAL、KURZ、MBA INTERNATIONAL、PMC LABEL MATERIALS、ROTOMETRICS、SCG PACKAGING、THAI KK INDUSTRY、WAH HO PACKAGING、ZUND ASIA といった、包装・印刷業界を代表するグローバル企業が、継続参加する。

前回の2015年開催において大きな収穫を得た、Ferrostaal (Thailand) 代表取締役



**PACK PRINT
INTERNATIONAL**

6th International Packaging and
Printing Exhibition for Asia

20 – 23 SEP 2017

Bangkok International
Trade & Exhibition Centre (BITEC)
Bangkok, Thailand

www.pack-print.de

Officially supported by :



Messe Düsseldorf / Organizer of :



Jointly organized by :



役社長 F. キストラー氏は、今年も出展参加すると話す。『PACK PRINT INTERNATIONAL は、運営が非常にしっかりしており、弊社およびパートナーの製品を、東南アジアの熱心なバイヤーや業界関係者に紹介する、戦略的なビジネスの場を与えてくれる。このような機会は、我々がまさに必要としているものだ。』

世界の包装産業の成長を牽引するアジア市場 – 拡大するアジアのラベル市場

先進国市場において、包装は必需品であり、そして新興国市場においても、ますますその重要性が高まっている。スミザーズ・PIRA (Smithers Pira) が先般発表した調査レポート『*The Future of Global Packaging to 2020*』によると、2014年に8,120億米ドルだった世界の包装産業の市場規模は、主にアジアが牽引役となり、以降年3.5%のペースで成長し、2020年には9,980億米ドルに達する見込みであるという。



こうした包装産業の世界的な潮流に加え、アジアではラベル市場が拡大している。前出のスミザーズ・PIRA が発表している別の調査レポート『*The Future of Printed Labels Market to 2019*』によると、アジアは地域別のラベル生産量において世界最大であり、その世界シェアは、2019年までに41%超となる、と予想されている。ラベル生産においては、フレキソ印刷が最も一般的な印刷方式だが、持続可能性に向けた取り組みとともに、デジタル方式も急速に拡大している。また、アジアの小規模国も、経済同盟を形成することで、競争の激しい同地域での存在感を高めている。10か国で構成されるASEAN経済共同体(AEC)は、商品、サービス、投資資本の流れを呼び込んでおり、ラベル業界のサプライヤーや加工業者にとって、今後注目すべき新興市場となっている。なお、ラベル産業にとって最も重要な業界は、変わらず食品・飲料分野で、僅差でパーソナルケア製品、医薬品が続く。

PACK PRINT INTERNATIONAL 2017 では、包装関連の展示に注目

このような市場動向を背景に、4日間にわたり開催される PACK PRINT INTERNATIONAL 2017 では、パッケージングに焦点を当てつつ、包装と印刷の相乗効果を生む、業界をリードする製品・技術・ソリューションが、勢ぞろいする。

今回の目玉の1つ《**One Stop Pack & Print Pavilion**》では、タイ企業による25の独創的な包装ソリューションが展示される。これらは、受賞歴もあり、食品・飲料、医薬品、電子機器、化粧品、パーソナルケアなど、幅広い分野を網羅する。そしてこのパビリオンは、革新的なパッケージデザインと、パッケージメーカー・エンドユーザー、材料サプライヤー、機械メーカーらが集結し、絶えず変化する包装・印刷エコシステムを推進する成功事例について、情報を入手・共有できる場としての役割を果たす。この展示エリアを包括する枠組みとして焦点が当てられ、イノベーションと技術発展が、包装と印刷に新たな相乗効果と視点をもたらす《**パッケージ&プリント 4.0**》は、パッケージ、製造業における包装加工、パッケージ生産の3本柱で構成される。

一方、ラベル印刷は、包装、印刷、そして印刷機械、ポストプレスのあらゆる側面に、ますます用いられるようになっていく。このような業界の流れを反映し、PACK PRINT INTERNATIONAL 2017で、ラベル印刷技術に特化した展示《labelling zone》が設けられる。ここで見られる製品・技術は、高度な最終包装用途をはじめ、ラベル印刷、装飾、カスタマイズ、技術応用に至るまで、多岐にわたる。

専門家と知識を共有できる併催プログラム

会場では、業界の専門家や出展企業によるセミナー、技術プレゼンテーション、会議も行われる。このなかには、国連食糧農業機関(FAO)と協力し開催する《Food Loss and Waste》会議も含まれる。FAOのアジア・太平洋地域担当シニアフードシステムズオフィサーである A. ベネット氏は、『食



品ロスを低減するソリューションに向けた動きを促進するため、包装業界と再び協働できることを嬉しく思う。イベントを楽しみにしている。』と述べている。

その他には、Kasetsart 大学農産学包装・材料学科(PKMT)、アジア包装ネットワーク(APN)、タイ包装協会、タイ印刷協会主催による、2日間にわたるフォーラム《International Packaging Research and Innovative Forum》、次の時代の包装を展望する《Food & Beverage Packaging Conference》、毎年開催されている《Thai Print Awards》、フォト・ビジネス・アソシエーションによるワークショップ、出展企業による技術プレゼンテーションなども予定されている。これらのイベントに関する詳細は、近日中に発表される。

PACK PRINT INTERNATIONAL 2017では、業界が一堂に会するワンストッププラットフォームとして、来場者が最大限のメリットを得られるよう、世界中から集まるおよそ15,000もの新規および潜在顧客、ビジネスパートナーに対し、対象を絞ったネットワーキング機会を提供する、ビジネスマッチングサービスを、事前登録を条件に、無償で提供している。

『PACK PRINT INTERNATIONAL 2017』ご出展、あるいは来場事前登録など、各種お問い合わせは、[\(株\)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン](#)、あるいは[日本語ウェブページ](#)をご覧ください。

Messe Düsseldorf Asia Pte Ltd
Fulvia Wong / Ms.
Marketing Communications Assistant Manager

Tel.: +65-6332-9649
Fax: +65-6332-9655
Email: fulvia@mda.com.sg

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン
担当: 橋木 雅弘

Tel.: 03-5210-9951
Fax: 03-5210-9959
Email: mdj@messe-dus.co.jp